

中小企業のDX推進へ

釧路地元金融機関の10人研修

企業のデジタルトランスフォーメーション(DTCアソシエイト)を推進する資格「I



釧路工業技術センターで行われた研修

定を受けるために必要なケース研修が、2、3月にかけて釧路市内やオンラインで開かれ、三つの地元金融機関から10人が参加した。釧路地域DX推進協会の中島秀幸会長は「地域で複数の金融機関が同時に10人も参加し、資格認定を受けるのは全国的に見ても珍しい」と話す。ITCアソシエイト

は、中小企業のDX支援や経営課題解決をITの視点からサポートする人材の育成を目的として、昨年新たに創設された資格。取得することで、上位資格であるITコーディネーター(ITC)へのステップアップがスムーズとなる。

今回の研修は、地元企業のDX推進には地域経済に根差した地元金融機関の協力が有効であることから、同協会や釧路市DX推進ラボが呼び掛けて実現した。釧路信用金庫、大地みらい信用金庫、釧路信用組合から計10人が参加した。

研修は全6回のうち5回はオンラインで実施し、最終回となる3月23日は釧路工業技術センターで行われた。参加者全員が修了し、申請によりITCアソシエイトの資格認定を受けられるほか、上位資格のITC取得に必要な研修も同時に修了した。

中島会長は「企業をよく知る金融機関にデジタル人材が増えることで、必要な支援の選択肢が広

がる」と述べ、「中小企業後も継続して研修を行う業のDX化推進が地域活ていきたい」と語った。(須貝喜治)